

車両系木材伐出機械

プロセッサー ・ 木材グラブ機
スイングヤード ・ フォワーダ

作業計画書

木寄せ集材 ・ 造材 ・ **集材運搬** ・ **土場作業**

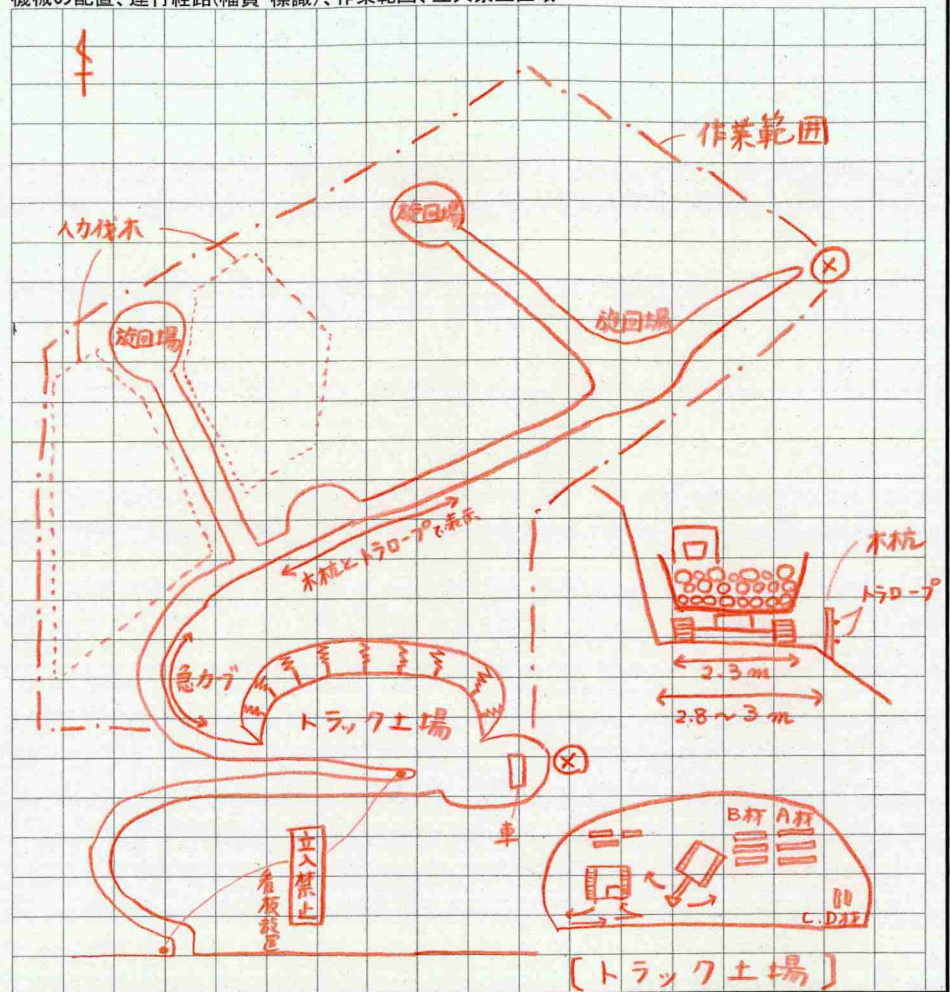
(安衛則 第151条の89)

令和 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日

事業者	〇〇 林業		作成者	〇〇 〇〇		
作業場所	〇〇〇 国有林 100林班 い / 小 班 : 〇〇町					
使用機械	種類	プロセッサー		木材グラブ機		
	能力等	177ジCT500	住友 800kg	177ジ 800kg		
	台数	1	1	1	1	
	種類	スイングヤード		フォワーダ		
能力等			Eロカ 6t			
	台数			1		
運転者(特別教育)	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇					
作業期間	令和 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日 ~ 令和 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日					
作業指揮者 選任・指名	選任基準	〇 車両系木材伐出機械を用いて行う作業 〇 車両系木材伐出機械の修理又はアタッチメントの装着、取付け			作業指揮者	〇〇 〇〇 プロセッサー・グラブ機では選任不要
	誘導者(合図者)	〇〇 〇〇				
合図方法	〇 笛 〇 手旗 〇 その他()				誘導者(合図者)	〇〇 〇〇
	誘導者: 重機の転落・墜落防止のため 合図者: スイングヤードのウインチ運転時に指名					
立入禁止措置	〇 木杭 〇 バリケード 〇 トラロープ 〇 カラーコーン 〇 その他()					
作業場所 運行経路	地形	・作業場所の斜度: 約 〇 度 ~ 約 10 度 ・平坦地の広さ: 約 1000 m ² ・運行経路の幅員: 約 3 m ・路肩の崩壊のおそれ: 有 ・ 無 ・路肩からの転落防止措置: 有 (盛土・誘導者配置・木杭) ・ 無				
	地盤	・雨等による地盤のぬかるみ: 有 ・ 無 ・機械の荷重を支持できない状態: 有 ・ 無 ・その他()				
伐倒する立木 及び取り扱う 原木等の形状等	種類	木 径: 胸高直径約 16 cm ~ 約 60 cm				
	高さ	約 15 m ~ 約 23 m ・重量: 1本あたり約 250 kg ~ 約 1600 kg				
作業方法 内容	・ グラブ機による木寄せ集材 (中間土場)					
	・ 中間土場でのプロセッサーによる造材					
	・ グラブ機でフォワーダに木材を積み込む					
	・ トラック土場までフォワーダによる集材運搬					
安全対策	・ 土場でグラブ機によるはい作業、トラックへの木材積み込み					
	・ 毎朝、危険予知活動を行う					
	・ 重機オペは、周囲を確認して作業する					
	・ 路肩の狭い場所に木杭を立てる					
応急の措置	・ 現場班長による安全現場宣言に取り組み					
搬送の方法	・ 緊急連絡体制の整備、確立し、回りの方法、骨折の手当て等の訓練を行う					

作業場所及び作業範囲と運行経路図

機械の配置、運行経路(幅員・標識)、作業範囲、立入禁止区域



確認事項	〇	×
①使用する重機には、ヘッドガードが取り付けられているか。	〇	
②使用する重機に、フロントガード等が取り付けられているか。	〇	
③運行経路の幅員は接地幅の1.2倍確保されているか。	〇	
④次の立入禁止箇所は全員理解しているか。 重機との接触危険箇所 ・ 原木の飛来等の危険箇所 ・ アーム等の下方	〇	
⑤運転位置から離れる場合の措置はよいか。	〇	
⑥保護帽やシートベルトの着用はよいか。	〇	

この作業計画に従って作業します。(〇 〇 月 〇 〇 日)

(署名) 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇